

◎開会の辞 (13:00~)

会長 菊池 順一郎

◎一般演題 (13:05~)

座長 田中 亮

- (1) Pharmaceutical formulation の異なる薬剤投与後の薬物動態学的差異の検討 —— Phenobarbital を例として ——

○皆川公夫、三浦寿男 (小児科)

- (2) 星状神経節ブロックの適応とその効果について

○渡辺 敏、田中 亮 (麻酔科)

- (3) 本院糖尿病外来における若年発症成人型糖尿病(MODY)の臨床像について

○中沢深雪、藤田芳邦、矢島義忠、岡部治弥 (内科)

- (4) 頸髄圧迫機転としての黄色靭帯の役割について

○三井公彦、岡田耕造、橋 滋国、大和田 隆、矢田賢三 (脳神経外科)

座長 柴田 久雄

- (5) 所謂「肝機能検査」の隘路

○土方英史、毛利康茂、山田伸夫、石井公道、柴田久雄、岡部治弥 (内科)

- (6) 膠原病における IgG 抗リンパ球抗体

○三ツ木紀人、赤星 透、柏崎禎夫、田崎義昭 (内科)

- (7) 羊膜インターフェロンの特異性について

○西村優子、田口文章 (衛生学部、微生物)

- (8) SLE 患者に出現する抗 B cell 抗体について

○吉井みき子、松井千春、柏木 登 (臓器移植)

◎総会報告 (14:30~)

◎北里医学会賞贈呈 (14:35~)

◎招待講演 (14:40~)

座長 西山 保一

ウイルス抑制因子 (インターフェロン)

— 特にその抗腫瘍性について —

長野 泰一

国立相模原病院顧問

◎学生論文発表 (16:10~)

座長 柏木 登

- (1) ラット脳細胞分画成分の酵素分布について

富田希和

(指導教員: 玉井洋一)

- (2) 胸部X線写真における正常構造の測定

佐々木美佳子、足立嘉世子、関谷治久、原 博文、田中博志、
永井 幸

(指導教員: 金子昌弘)

- (3) 胃内のリンパ流について

大石睦夫

(指導教員: 比企能樹、石井勝己)

- (4) *Listeria monocytogenes* はマウスにとって intracellular bacteria であろうか?

横田真二

(指導教員: 秋山武久)

- (5) スケトウダラ神経組織に見られた糖脂質組成の特異性

堀地 肇、原尻慎一郎

(指導教員: 玉井洋一、大谷義夫)

- (6) 実験潰瘍の研究; イヌによる慢性潰瘍作成の試み

五十畑 仁

(指導教員: 比企能樹)

◎閉会の辞 (17:05~)